

積極的な生産設備投資による生産プロセス革新と新規市場・雇用の創出

同社は、全国シェア45%を誇る、兵庫県の地場産業「そうめん」(手延素麺揖保乃糸が著名)のギフト用化粧木箱を主に製造する木箱製造業者である。1964年創業、1986年に法人化、2006年に山陽道龍野西インター前に工場建設、2012年に本社を同地に移転。素麺の製造でスタートし、現在に至る。食に携わる企業として「安全・安心な製品づくり」が創業時からの一貫した経営理念である。化粧木箱製造のリーダー的企業であり2020年には名実ともナンバー1を目指している。

- | | | | |
|----------|---|--------|-------|
| ● 所在地 | 兵庫県たつの市揖西町南山3丁目73番地 | ● 設立 | 1986年 |
| ● 電話/FAX | 0791-66-3870/0791-66-3877 | ● 資本金 | 500万円 |
| ● URL | http://www.kinugasa-mokkousyo.co.jp/ | ● 従業員数 | 70人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 衣笠 秀和 | | |



商品の企画・設計・デザインから製造まで自社工場で一貫生産

近年、贈答の風習及び食習慣や嗜好品に変化が見られる中、同社は主力商品である素麺ギフト用化粧木箱生産に加え需要が増加している、おせち料理や地域の名産品、特産品用等の多様で高級志向の小型木箱の受注、生産に注力している。この需要に対し、迅速に取り組み、製造工程の見直し・改善を図り、①デザインから印刷・生産まで自社でできる、②少量多サイズから大量受注・短納期対応できる、③サンプル品の素早い提供などが可能になり、製品の高付加価値化、競争力の強化が図れた。



同社が製造する商品の一例

積極的な設備投資によるネック工程の解消と短納期化への対応

ボンド付け仕様の工程ネック解消のため全自動Vカットソー加工機や化粧木箱専用テノーナ(ホゾ取り機)など新規設備を積極的に導入。既存装置は、形状や大きさが多様であるオーダーメイド、フリーサイズ木箱の多品種生産には不向きであった。Vカットソー加工機導入では工程全体の作業時間が最大10分の1に短縮、年間30万箱、売上高にして約6千万円の増産を達成した。化粧木箱専用テノーナも手作業工程の効率化を目指し導入、生産能力は8倍になり、熟練者3名から未経験者2名で操作可能となった。



新導入の全自動Vカットソー加工機

生産システム革新がもたらす多能工化、経験未熟者の作業参画

最新の機械装置導入による生産システムの革新は、6系統ある化粧木箱製造工程のいずれでも対応できる多能工の育成に役立っている。また、高齢者や経験の浅い従業員にも作業参画を可能にするなど大きな効果をあげている。このことが地域の障害者に門戸を開く結果をもたらした。現在、正規採用2名を含め7人の障害者が仕事に従事している。派遣している障害者施設(社会福祉法人)と連携し、作業できる環境を整えるほか施設職員の新任研修の場としても活用されている。



有限会社衣笠木工所の社員の皆さま